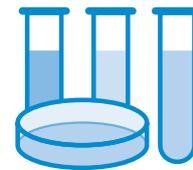


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

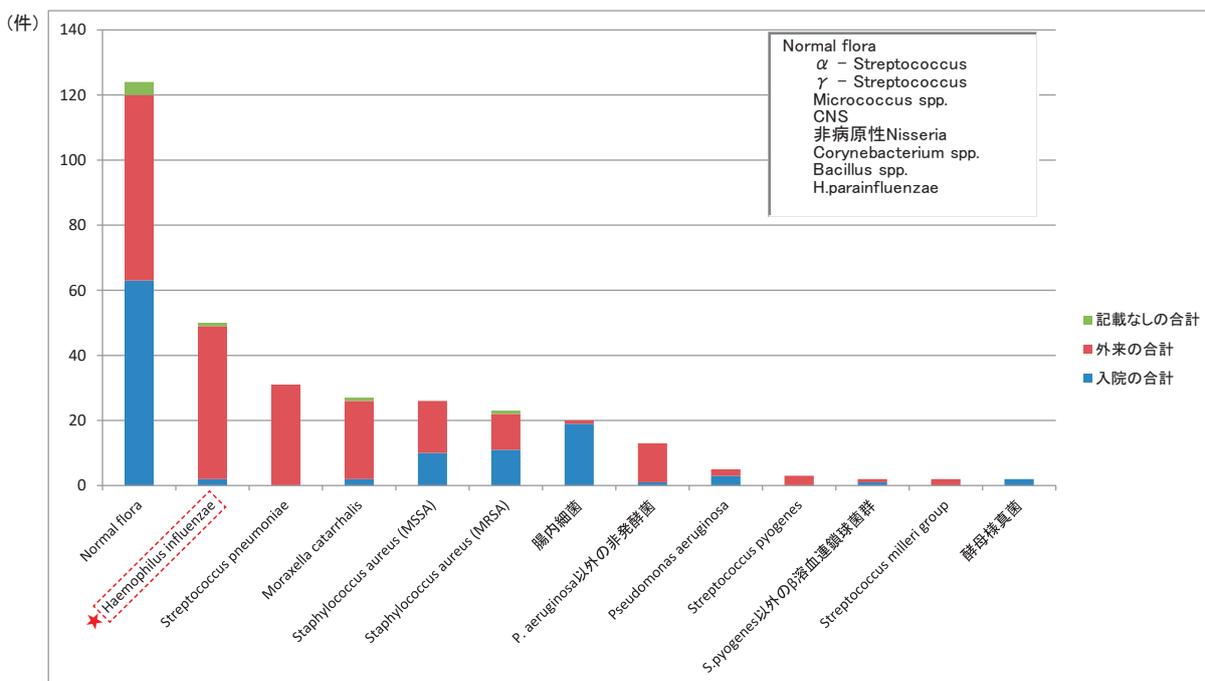


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況と *Haemophilus influenzae* の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2020年05月



Haemophilus influenzae はヒトの上気道に常在するグラム陰性短桿菌です。幼児に対して化膿性髄膜炎を起こし、咽頭蓋炎、心膜炎、肺炎などを起こすこともあります。また、血液や髄液から検出された場合は、感染症法5類感染症の全数把握対象である侵襲性インフルエンザ菌感染症に該当します。

【Haemophilus influenzae 薬剤感受性情報】

2020年5月分

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	ABPC	ビクシリン	45	27	27
	AMPC	サウシリン	39	19	43
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CTRX	ロセフィン	100	0	0
	CAZ	モダシ	100	0	0
	CZOP	ファーストシ	50	0	50
	CFPM	マキシピーム	100	0	0
	FMOX	フルマリ	25	0	75
セフェム系経口薬	CPDX	バナ	59	0	41
	CFDN	セフゾ	42	0	58
	CFPN	フロモックス	68	0	32
	CDTR	メア外	100	0	0
	CFTM	トミロン	98	0	2
カルバペネム系	IPM	チエナム	91	0	9
	MEPM	メロペン	100	0	0
	DRPM	フィニバックス	100	0	0
	TBPM	オラペネム	98	0	2
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	56	0	44
	ACV	オーグメンチン	77	0	23
	STC	ユナシ	38	38	25
マクロライド系	CAM	クラリス	88	7	5
	AZM	ジスロマック	94	0	6
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシ	100	0	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	98	0	2
	TFLX	オゼックス	94	4	2
	GRNX	ジェニナック	91	0	9
	ST	バクタ	50	0	50

Haemophilus influenzae は、近年アンピシリン耐性菌が増加しており、それぞれの耐性機序から BLPAR、BLNAR、BLPACR の3つに分けられます。特に当検査センターでは BLNAR が多く検出されています。

BLNAR の耐性機序は、ペニシリン結合蛋白(PBP)の変異による薬剤結合親和性の低下であり、アンピシリン以外にβ-ラクタマーゼ阻害薬配合剤、第一・第二セファロスポリン系薬にも耐性化傾向があります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係